

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	インディアナ大学バドュー大学 インディアナポリス	参加 プログラムの名	2022年度夏期語学研修 インディアナプログラム	国名	アメリカ合衆国
氏名		学籍番号		学科	国際関係学科
参加時の 学年	3年	参加費用 (日本円で概算)	620,000		
参加日程	2022年 7月 9日 ~ 2022年 7月 31日 (3週間)			記入年月日	2022年 8月 1日

① 参加前について

授業・活動に参加する目標は何でしたか。

今回の語学研修は、語学力の向上と異文化理解・多角的視点の養成の2点を目標としました。まず、語学力の向上に関しては、今回のアメリカ現地の講義・ホームステイの経験を通して、日常会話だけでなく最新の社会問題なども英語で話すことで、より実用的な語学力を身につけること、自分の語学力で不足している点を自覚する機会にしました。また、異文化理解・多角的視点においては、文化や価値観が異なる人々と積極的に交流し、相手や自分への理解を深めることを意識しました。

② プログラムについて

授業・活動の感想

月曜日から金曜日の午前(9:00-12:15)に授業があります。「日本の男女格差問題」「カルチャーショック」といった様々なトピックを用いて、リーディング・スピーキング・ライティング・リスニングの強化を行いました。課題・発表準備・グループワークがあり、忙しい時期もありました。全体を通して、積極的な発言を求められますが、分からないことがあれば気軽に尋ねられる雰囲気です。午後(13:00-14:00)には、ワークショップ(メールの書き方・面接)、Guest Speakerによる講演(計4回)、市内観光(美術館・動物園など)がありました。また、休日にHomestay Activity という行事が1回あり、ホストファミリー数人と参加した学生全員で、アイスクリームショップやアウトレットモールに行く機会もあり、学習しながらも適度に楽しめる構成だったと思います。最終週には2泊3日のシカゴ旅行がありました。

授業・活動以外の部分についての感想

休日や放課後の過ごし方はホストファミリーに大きく左右されます。私は、学校で16時くらいまで課題を行った後、家に帰って料理と一緒に作ったり、スーパーマーケットに同行したり、散歩に行ったりすることが多かったです。課題の量や体調などを考慮してくれたので、快適に過ごすことができました。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません

現地の大学で日本語を学習している方とペア(Coversation Partner)が組まれ、放課後などに話をしたり、市内を散策したりなどの交流がありました。また、Sushi/Pizza Partyが2回開催され、ご飯を食べながら、Coversation Partnerと交流を行う機会も設けられています。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

・コミュニケーション能力

最初は、現地の方々の言ったことが理解できていたか、自分の言ったことが伝わっているのか不安でしたが、その時に「～であってますか?」と自分が解釈したことを説明しつつ質問することを意識することで、実用的な語学力のみならず、コミュニケーション能力の成長ができたと思います。時間が経るにつれ、ホストファミリーや先生とのコミュニケーションが円滑になることを実感し、英語で会話すること・意見を言うことが楽しくなっていました。

・柔軟な対応力

慣れない環境で生活することや、コロナウイルス感染拡大ということもあり、不測の事態の発生も度々起こりました。そのなかで、グループリーダーとして正確な情報・状況の把握に努め、参加者の皆さんが安全に過ごせるように、臨機応変に行動したことで、対応力が身に付きました。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

◎アドバイス

- ・大学～ホームステイ先間の移動は、バスに乗って行きました。(初日に乗車バスが配布されました。)
- ・昼食代は自己負担でした。大学内の食堂等で各自で買います。(念のためホストファミリーに聞いてください。)
- ・生活費(お土産・シカゴ観光で使った観光費用・昼食含む)は約8万円でした。日本よりも物価が高いので多めに持って行くといいと思います。

◎メッセージ

今回、コロナ禍のなかでも安全に渡航できたことが大変貴重で、喜ばしいことであつたと改めて実感します。3週間という短い期間のなかで、自らで学びを深めていくためには「自分は英語が話せない」「英語で言いたいことが言えない」という感情を持つのではなく、意見があればとりあえず発言してみるという勇気を持つことです。最初は発音の違いや速さなどに戸惑い、コミュニケーションがうまく取れなくて悩む機会があると思いますが、そこで、間違いを恐れずに挑戦することが重要です。また、ご自身で明確な目標を設定することも、3週間をより有意義なものにすることができるカギです。今後参加してみたいと考えている方は、応募前・渡航前に「何を学びたいか」を考えておくとも思います。

本プログラムの計画・準備等をすべてに携わって下さった、国際センターの皆様、IUPUIの皆様、ありがとうございました。



最終日に撮影した集合写真



最終日の食事でホストファミリーと撮影した写真